

【別表A(5)-1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄(■)を記載ください。黄色欄(■)は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
修繕積立引当資産	資産	2028年度	12,019,000 円	10,591,000 円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末						
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
10,591,000 円		0 円	0 円	357,000 円	10,948,000 円	12,019,000 円
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考	
修繕積立引当資産	資産	2028年度	12,019,000 円	0 円		

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細		期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
修繕積立引当資産	資産	円	12,019,000 円	41 月	3,517,756 円	3,517,756 円

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細		積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
修繕積立引当資産	資産	円	
合計		0 円	0 円

【別表A(5)－2(公益充実資金の明細)】

資産											
特定の事業又は資産取得等の名称	修繕積立引当資産										
当該活動の内容	会館修繕のための資金。当会館は、平成25年(2013年)10月に建築し、12年経過いたしました。建物調査の結果、経年劣化による屋根材や外壁の変退色や塗膜の劣化、ひび割れが見受けられるため、安全性を考慮し、建物の大規模修繕へ備えるための積立であります。										
計画期間(目的設定～実施)	西暦	2022	年	4	月	～	2028	年	8	月	月数 (76 月)
所要額の算定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月24日付け、専門業者による外部塗装工事等見積金額が16,600,000円。 ・令和4年10月分消費者物価指数上昇率3.7%を参考とし、$16,600,000 \times 3.7\% \div 600,000 \text{円} \times 6 \text{年分(令和5年度～令和10年度)} = 3,600,000 \text{円}$ ・上記16,600,000円と3,600,000円の合計額20,200,000円に対し、令和3年度ベースの会館の使用割合に応じて、公益目的事業に59.5%、収益事業及びその他事業に30.5%、法人会計に10.0%の割合で積立。公益目的事業への積立限度額は$20,200,000 \text{円} \times 59.5\% = 12,019,000 \text{円}$であり、収益事業等と法人会計への積立限度額は$20,200,000 \text{円} \times 40.5\% = 8,181,000 \text{円}$である。 										